

名古屋而立会・総会

第46代会長に野田哲也氏(太美工芸)

「組織を動かす仕組み」

名古屋而立会(野田哲也会長、以下 而立会)は、4月18日午後6時より、名古屋・栄のホテル名古屋ガーデンパレスにおいて「令和元年度総会」を開催した。参加者36名。総会では、堺貴弘会長からバトンタッチした野田哲也新会長が、「社会の変革期を乗り越える為、変化に即応出来る体制を整備し、力強い組織を作る仕組みを、この一年を通じて勉強していきたい」という想いを込めた年間テーマ「組織を動かす仕組み」を表明、新たなスタートを切った。また、令和元年度事業計画の件」など5議案を上程し、審議、承認された。

総会の司会進行は、告、前年会計若園俊介氏の「平成30年度決算報告」に、続いて、野田会長から「令和元年度事業計画案」、「令和元年度予算案」の内容説明が行なわれ、いずれも承認された。その後「その他の議案」では野田会長より

名古屋而立会・野田哲也会長挨拶

年間テーマ「組織を動かす仕組み」



挨拶をする野田哲也会長

私は而立会に入会し丸8年が経ちます。2年ほど前に会長就任の打診を受けました。会社では、父から社長を受け継ぎ、間もない時期でもありました。当時の状況は、自分一人で回しているような会社であり、また、このような企業体質では、とても受けられないと感じました。同時に、この話から逃げることも出来ないとも思っていました。その時か

ら、会社を一人で回している状態から変化するために、新しい組織の形について模索し始めました。そこで、今年度は「組織を動かす仕組み」を年間テーマに活動します。令和への改元を控え、環境の変化以上に、人々の意識が大きく変化しています。私たちが役員は皆、経営者・後継者・幹部社員です。誰もがいずれ、今ある組織を引き継ぎ、自分自身が思い描く組織に、再構築する必要性に迫られる時が来ます。考えをまとめ、方向性を指し示し、思いを伝え、部下のやる気を引き出せる、そのようなリーダーが作る組織は、より大きな力が発揮できると考えます。

私たちはこの2年間、60周年、名古屋大会と、大きなイベントを立て続けに行ない、お陰様で大成功させる事が出来ました。私たち一人ひとりが、その持ち味を出し、組織も十分に機能して、より大きな力となり、イベントの成功という成果を上げました。お手本となる組織は、まさにこの一番身近な而立会でした。この素晴らしい組織のものと成る仕組みを、自分のものとするため、改めて会員の皆さんと一緒に学びたいと考えました。「組織を動かす仕組み」を学び、来るべき令和に向け、時代の変化にも揺るぐことのない、力強い組織を作り上げましょう。

而立会においても、今年度私たちは新しい運営体制へ変化してまいります。4委員会から3委員会に移行します。また、ぎふ印刷翠陽クラブ様とも、共同運営する例会を設営します。そして、会員増強についても、増強担当委員会を作り、出来る手立てを尽くします。社会の変化に対応するため、一石を投じる覚悟をしました。会員の皆さんと共に、悩み、考え、永続出来る而立会を作っていくましよう。そのためにも、例会、委員会、懇親会、また級友会など、他団体とのイベントに、積極的に参加して頂きたいと思っております。交流することでしたか

得られない、貴重な経験や体験があります。積極的に交流し、刺激を受けてほしい。そして、仲間から後押しされる事が、大きな力になることに気づいて欲しい。なぜなら、私もそのひとりだからです。名古屋而立会の会長という大役は、ひとりで抱えるには不安でしかありません。でも、私には皆さんがついていてと信じています。皆さんのお役に立てるよう、しっかりと、精一杯、会長というお役目を務めさせて頂くことをお約束して、会長挨拶とさせていただきます。一年間、どうぞ宜しくお願い致します。

支名古屋而立会総会



堺前会長(左)と野田新会長(右)

新入会員報告では、藤原功氏(株)メイセイプリント)、吉川雄季氏(株)プリポート)、河合真典氏(大和グランド(株)の入会。また、渡辺達也氏(株)メイセイプリント)、竹内嘉規氏(株)スクラ印刷)、箕浦靖夫氏(名鉄局印刷(株)、前田知彦氏(株)プリポート)、宮原健太郎氏(南一粒社のOB会員への移行が報告され、総会が終了した。

その後、来賓、OB会員を招き懇親会が行なわれた。懇親会の冒頭、挨拶に立った野田会長は、参加者に敬意を表した後、次の様に述べた。

「先ほど総会も無事終りました今年度の事業案、予算案すべて承認いただききました。その中で規約の変更をさせていただきました。今まで41歳まで入会としておりましたが45歳入会という事にさせていただきますました。45歳入会と言う事にあたり、在籍年数を5年間在籍した者から而立会が卒業できるという事に変更させていただきます。この変更に至りました。この変更に至った経緯は、まず間口が広がることで、今現状、而立会のメンバーとして在籍している方は経営者、後継者、幹部社員ですが後継者においても会社に戻ってくる年齢が30代後半になってからと遅くなっています。また、社員さんで入っていただ

ける方も多くなっていますが、30代ではなかなか難しいという声も聞きます。それを45歳に変更することによって、入会できる可能性のある方を広げたいという事です。この変更により新しく仲間を迎え入れる事が出来ますので皆さんお声掛け宜しくお願い致します。続いて、来賓の愛知県印刷工業組合の細井俊男理事長が日頃の愛知県印刷工業組合への協力に感謝の意を表した後、次のように祝辞を述べた。



懇親会のもよう

「我々の少し先の時代を造って行くのは皆様方だと思っております。2045年には人工知能が人間を凌駕する時代に突入します。もう私たちが全く想像がつかませんが、これからの印刷業界、いろいろな物が付いて、いろいろな物が離れて変わっていく商売自体も変わっていくと思っております。皆様のおかげで、無駄な時間を過ごしてしまつては、もったいないです。1年間、会長になったかぎりには必死で良い会にしたいと思っております。岡田吉生氏の乾杯の発声で新たなスタートを切った而立会の祝宴が始まり、情報交換が行なわれ、和気藹々の時間を持った。